

令和4年度 推薦入学試験問題

情報学群
知識情報・図書館学類

小論文

試験時間 90分

注意事項

- ・ 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- ・ 受験番号、氏名を解答用紙の所定の欄に記入してください。
- ・ この問題冊子は全部で11ページ（表紙を除く）です。
- ・ 解答は、解答用紙の所定の欄に記入してください。
- ・ 試験中に問題の脱落、解答用紙の汚れ等に気づいた場合には、手を上げて監督員に知らせてください。
- ・ 試験終了後、問題冊子・下書き用紙は各自持ち帰ってください。

本試験は、論理的思考力・理解力・表現力・発想力などの能力を総合的にみようとするものであり、思想・信条等を問うものではありません。

問題1 次の文章を読んで問1から問3に解答しなさい。

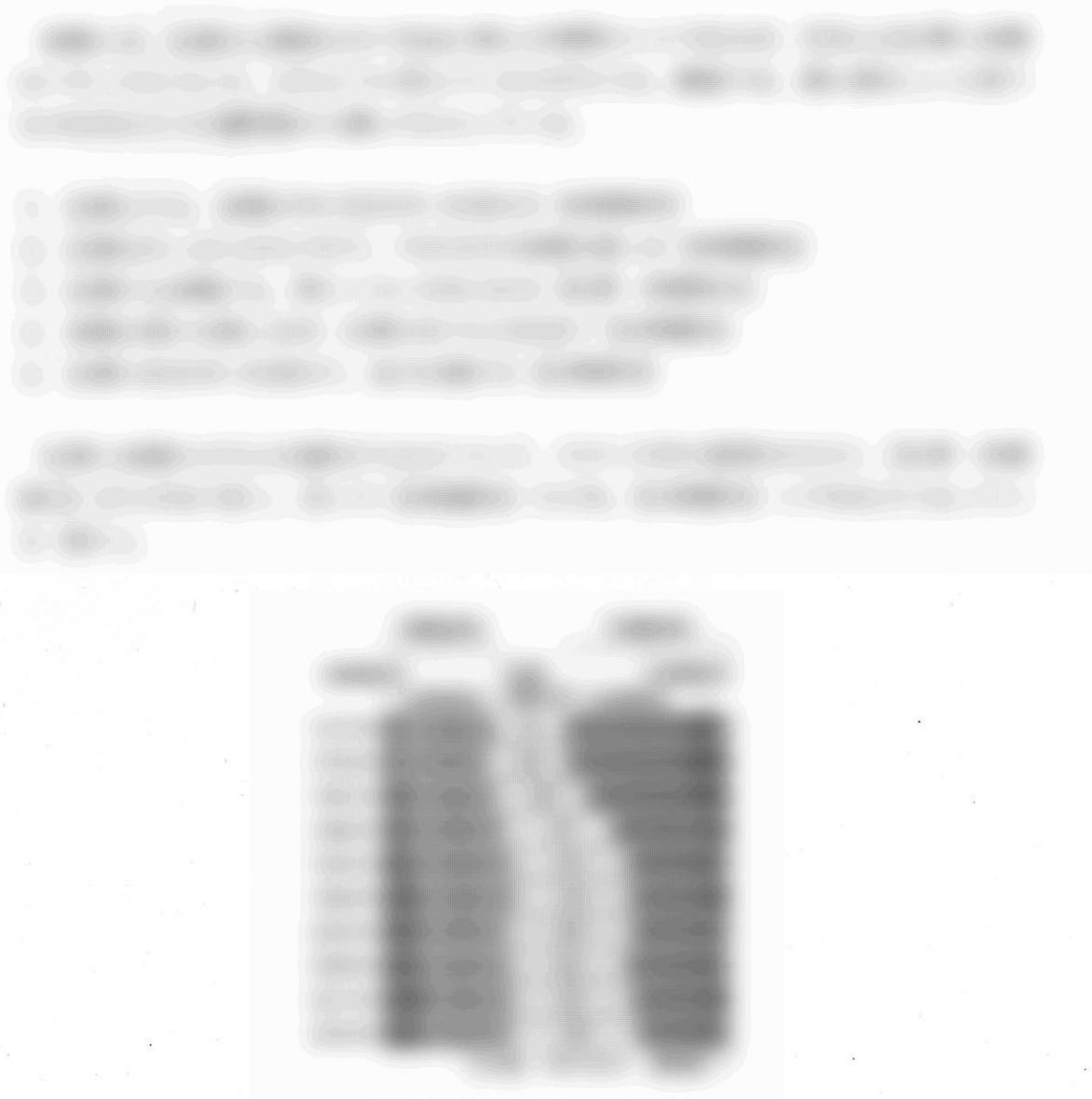


図1 仕事と余暇〈全体〉



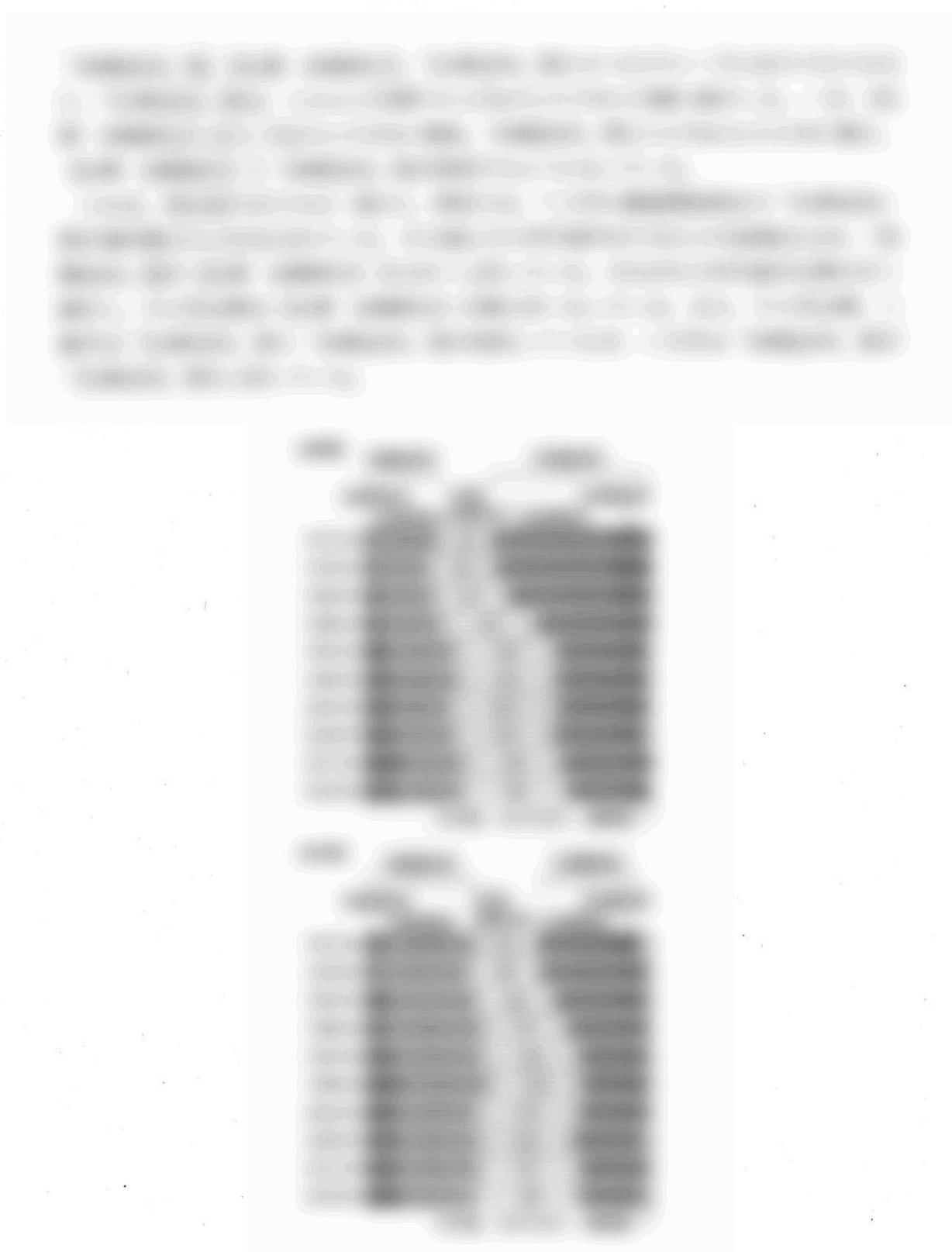


図2 仕事と余暇〈男女別〉



図3 仕事と余暇《仕事・余暇両立》〈生年別〉



図4 仕事と余暇「仕事志向」型〈生年別〉

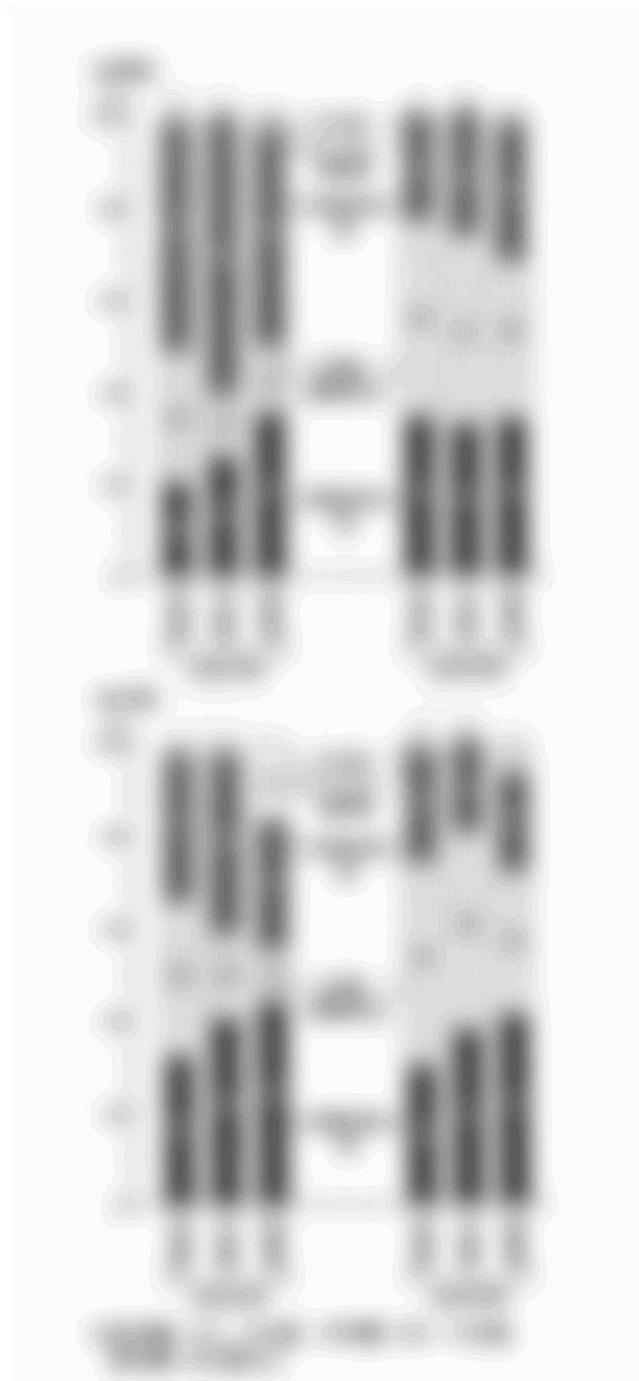
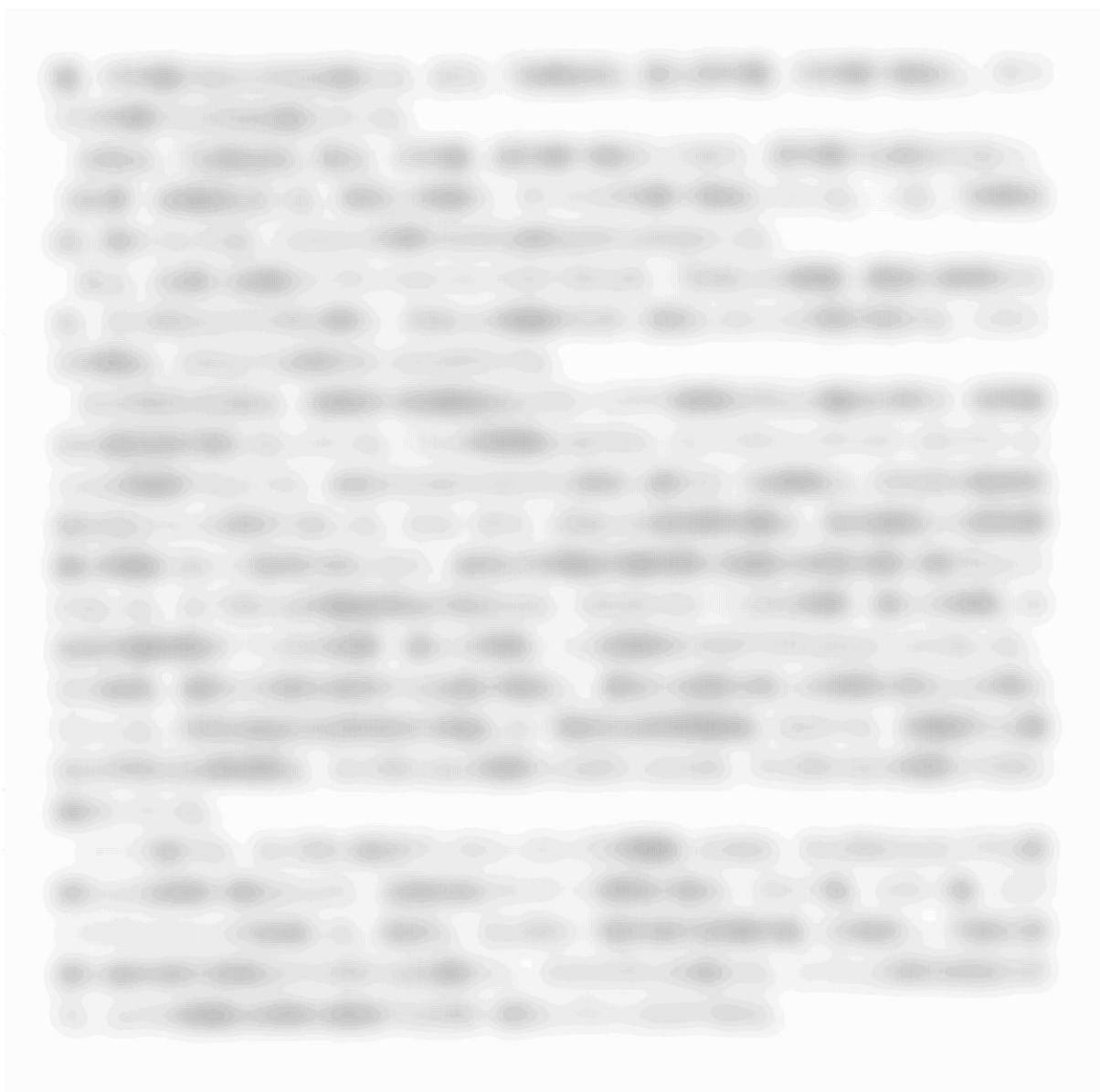


図5 仕事と余暇〈男女年層別〉





出典：NHK 放送文化研究所. 現代日本人の意識構造 [第9版] (NHKブックス). NHK
出版. 抜粋・一部改変.

問1 図3から読み取れることに基づいて、下線部①「仕事と余暇のバランスについての考え方は、社会状況や経済状況が変化すれば変わるのであろうか」という問い合わせに対して100字～200字で答えなさい。

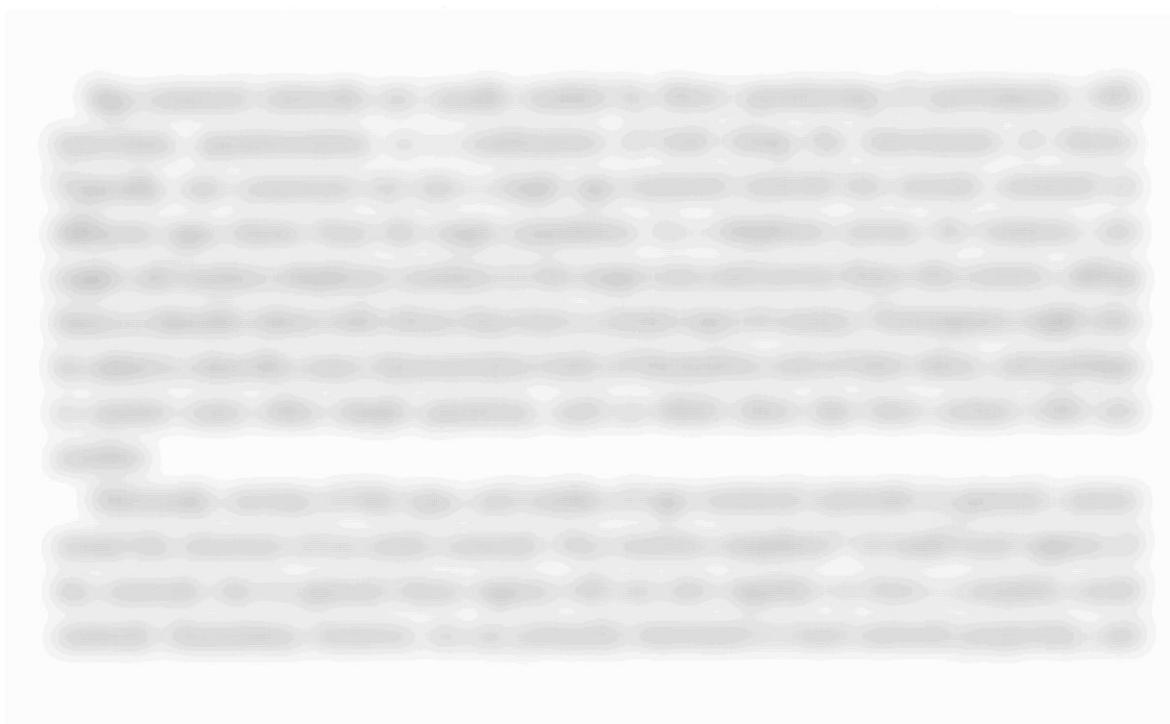
問2 本文中で示される調査結果からは83年から93年の間に、日本人の意識が大きく変化したことが読み取れる。では今後10年間に日本人の仕事と余暇のバランスについての考え方はどう変化しうるか。現在の時代背景を踏まえながら300字～400字で論じなさい。

問3 98年において、「余暇志向」型の女性は「余暇志向」型の男性の何倍いたと推測されるか。計算過程を示して、推計値の小数点第3位を四捨五入して小数点第2位までを解答しなさい。ただし、98年において男性は6,200万人、女性は6,400万人いたと仮定する。

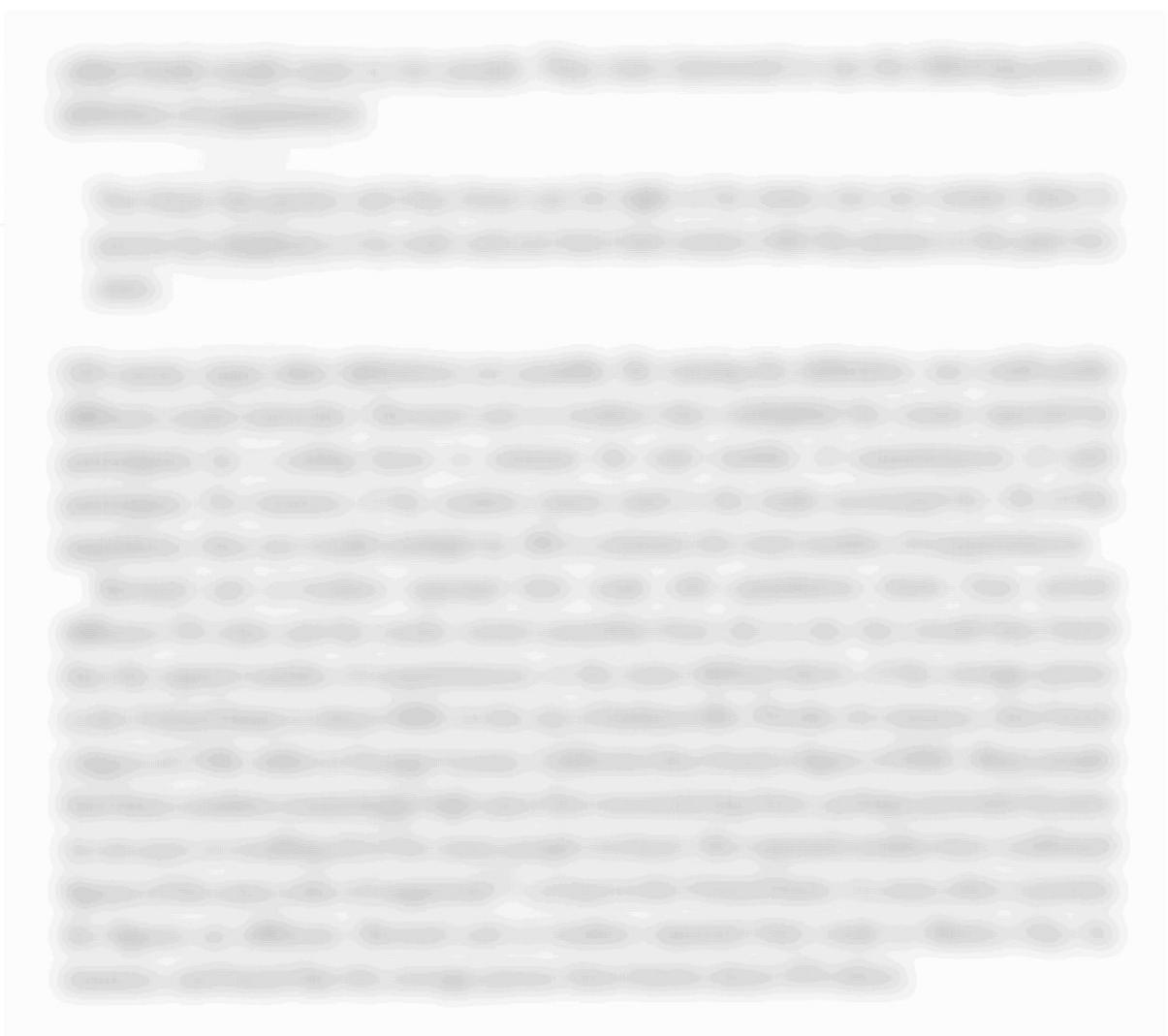
問題 2 次の文章を読んで問 1 から問 4 に日本語で解答しなさい。



Figure 1. An ego-centered network consisting of an ego and five alters.







出典：Mark Newman. Networks, 2nd ed. Oxford University Press. 抜粋・一部改変.

(注)

*1 sociometric : 計量社会学の

*2 infeasible : 実行不可能な

*3 spectrum : 領域

*4 snapshot : スナップショット、ある時点における状態の記録

*5 node : ノード、節（ネットワークの構成要素）

*6 probe : ~を調査する

*7 demographics : 人口統計

*8 iteration : 反復

*9 unlimited : 制限のない

*10 acquaint : ~について知る

*11 elegant : 適切な

*12 circumvent : ~を回避する

*13 directory : 電話帳

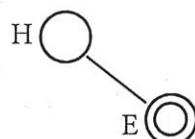
*14 magnitude : 大きさ

問1 Assume that there are friendships between A~H as follows:

- A is a friend of B
- B is a friend of D
- C is a friend of B
- F is a friend of C
- E is a friend of B
- G is a friend of E
- H is a friend of E

The figure below shows an example of an ego-centered network in which H is the ego. In the answer sheet, draw an ego-centered network in which B is the ego, by using the example as a reference.

Example



問2 Three questions on the number of friends were asked in the General Social Survey of 1998. Write all the questions in Japanese.

問3 Some care must be taken when the approach proposed by Bernard and co-workers is applied to the community where the number of unique family names is small. Discuss in Japanese what problems can happen (100 ~ 200 characters).

問4 Suppose that you are investigating the number of acquaintances in Japan, by the approach proposed by Bernard and co-workers. To this end, you randomly chose 3,750 unique family names from 300,000 unique family names in Japan and conducted a survey. As a result, the average number of acquaintances in the family name list was 4.25. Calculate the estimate of the average number of acquaintances in Japan. Show the calculation procedure.